

福祉あがの

平成30年7月15日発行

発行：社会福祉法人
阿賀野市社会福祉協議会



人を明るくさせる
“幸せ話術”

6月16日、『阿賀野市社会福祉大会』を開催しました。大勢の皆様からご来場いただき、大変ありがとうございました。

記念講演では、リポーターの菊田あや子氏より「菊田あや子の人を明るくさせる“幸せ話術”」と題して、お話をいただきました。ただ「ありがとう」と言うよりも、「〇〇をしてくれてありがとうございます」と言う方がより気持ちが伝わること、相手の話を聴くことでもっと会話が楽しくなることなど、今すぐ実践できる“幸せ話術”を教えてくださいました。

菊田さんの元気と明るい笑顔に会場は幸せな空気に包まれました。

平成30年度阿賀野市社会福祉大会

みんなが主役！ひとにやさしい阿賀野のために
いま、わたしたちにできること！

6月16日、阿賀野市水原保健センターにおいて平成30年度阿賀野市社会福祉大会を開催いたしました。

この大会は、社会福祉に関係する各団体並びに住民の皆さまの参加のもと、広く福祉に対してのご理解をいただくため、また福祉に関する情報発信の一環として開催いたしました。

第1部の式典では、これまでに社会福祉の分野に功績のあつた方々に対しての表彰式が行われ19名の個人と5団体がそれぞれ表彰を受けられました。また、市内の2企業に対しても感謝状の贈呈が行われました。

第2部は、BSN新潟放送 毎週土曜日「なじラテ」の初代司会者でリポーターの「菊田あや子」氏をお迎えして記念講演を開催いたしました。菊田さんからたくさんのパワーをいただくことができました。

また、当日会場にて、フードドライブを実施いたしました。この活動は、保存可能な食品を募り、必要としている方々へ寄付する活動です。多くの方々からご協力を頂きました。ありがとうございました。



29年度、延100件の食品提供を行いました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

表彰を受けられた皆さま、おめでとうございます

《社会福祉事業功労者表彰》敬称略、順不同

◎社会福祉施設役員功労者

木村 英樹 (福. 阿賀北総合福祉協会)	樋口 孝之 (福. 阿賀北総合福祉協会)
田代 まゆみ (福. 阿賀北総合福祉協会)	伊藤 麻里 (福. 阿賀北総合福祉協会)
加藤 裕之 (福. 阿賀北総合福祉協会)	居城 真帆 (福. 阿賀北総合福祉協会)
田中 美智子 (福. 阿賀北総合福祉協会)	神田 亜希子 (福. 阿賀北総合福祉協会)
高橋 敏子 (福. 阿賀北総合福祉協会)	石塚 敏明 (福. 阿賀北総合福祉協会)
植木 政行 (福. 阿賀北総合福祉協会)	木村 潤子 (福. 阿賀北総合福祉協会)
千原 セツ子 (福. 阿賀北総合福祉協会)	成田 妙子 (福. 阿賀北総合福祉協会)
笹川 慶子 (福. 阿賀北総合福祉協会)	細越 華子 (福. 阿賀北総合福祉協会)
伊佐野 喜美 (福. 阿賀北総合福祉協会)	

◎社会福祉協議会・民間社会福祉団体等役員功労者

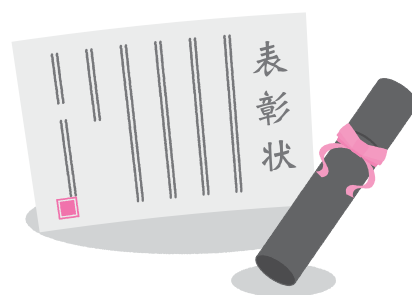
山岸 勲 五十嵐 一左右衛門

◎社会福祉施設・団体優良活動

コスモスロードを育てる会 夢大会 北星サロン
おはようサロン 学校町お茶の間会

◎社会福祉事業協助者

株式会社 クボ製作所 さくらの街信用組合



平成30年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

事業計画

基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

基本方針

国をあげて「地域共生社会」の仕組みづくりが進められている中、全社協では、これら地域福祉施策の動向を踏まえつつ、地域社会の変化と多様化・複雑化している課題に向け、社協の強化方針の行動宣言を踏まえた「第2次アクションプラン（行動計画）」を策定しました。

これによって、当社協としても地域の現状と課題を整理し、独自の行動計画の策定と実現可能な取り組みを事業計画や地域福祉活動計画に具体的に落とし込み、実行に移していくことが求められています。また、介護サービス事業等においては、地域の中における事業所のポジション、強み、弱みなどを把握し、経営課題を明らかにして取り組んでいく必要があります。

今後は、国の制度・施策の動きを認識しながら、地域福祉と介護サービス事業等を社協全体としてとらえた経営戦略をもち、併せて社協における介護サービス事業の位置づけを明確にし、新たな時代における「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」の構築に向けて努めてまいります。

重点事項

1. 住民主体による参加型の地域福祉サービスのシステム構築
2. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援強化
3. ボランティア活動の活性化と人材育成
4. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
5. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
 - (1) 阿賀野市デイサービスセンター5か所
【むすびの里、第二むすびの里、第二永寿園、第二わかばの里、おおむろの丘】
 - (2) 保健福祉センター「京和荘」（複合型施設）

収支予算

科 目		予 算 (円)	科 目		予 算 (円)
収 入	会費収入	4,222,000	支 出	人件費支出	464,108,000
	寄付金収入	173,000		事業費支出	91,885,000
	経常経費補助金収入	75,965,000		事務費支出	45,431,000
	受託金収入	37,353,000		就労支援事業費支出	4,402,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	242,000		助成金支出	663,000
	介護保険事業収入	384,549,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	637,000
	就労支援事業収入	4,318,000		積立資産支出	5,000
	障害福祉サービス等事業収入	100,989,000		その他の活動による支出	19,170,000
	その他の事業収入	5,000		予備費支出	1,216,000
	受取利息配当金収入	15,000			
	その他の収入	154,000			
	収 入 合 計	608,485,000		支 出 合 計	628,017,000
		当期資金収支差額	△19,532,000		

平成29年度 阿賀野市社会福祉協議会事業報告

<法人運営事業サービス区分>

1. 会務の運営
理事会（6回）、評議員会（3回）、監事会（4回）、外部監査（4回）、正副会長会議（4回）、在宅福祉委員会（3回）の開催
2. 社会福祉関係者の表彰・顕著
阿賀野市社会福祉協議会会長表彰（21名、4団体）
3. 役職員の研修
役員研修（1回、1名参加）、職員研修（19回、34名参加）
自主研修（3回、69名参加）
4. 自主財源の造成
一般会員 8,558世帯（59.0%）
特別会員 13団体/22口・29法人/44口
賛助会員 124個人/124口
5. 行政機関・関係福祉団体との連絡調整
「共に生き共につくる福祉社会」の実現のため、所属庁・関係機関・団体の主催する各種委員会・協議会に出席し、多職種との連携に務めた。
6. 外郭団体への支援
阿賀野市老人クラブ連合会・阿賀野市身体障害者福祉協議会・阿賀野市手をつなぐ育成会・阿賀野市連合遺族会の活動支援
7. 暮らしを守る住民活動の推進（虚礼廃止運動推進事業）
無料礼状ハガキの活用（活用户74名、活用枚数699枚）
8. 啓発活動の強化
阿賀野市ボランティアフェスタ2017の開催（障がい者合同フォーラムと同時開催）
第67回新潟県民福祉大会の参加
社協だより「福祉あがの」の発行、社協広報事業（ホームページ）の実施
9. 共同募金活動の強化
実績額 9,377,539円（達成率98.8%）
10. 高齢者福祉活動の推進
いきいきサロン事業の支援
11. 災害救援活動の支援
阿賀野市防災研修会への参加、阿賀野市防災訓練への参加、災害ボランティアセンター研修の実施

<配食サービス事業サービス区分>

配食サービス事業
（利用者：89名、食数：4,244食、回数：安田地区48回
京ヶ瀬、水原、笹神地区50回）
おせち料理サービス事業（12/30 94食）

<生活福祉資金サービス区分>

福祉資金
福祉費（前年度末13件、新規0件、償還完了2件、貸付中11件）
緊急小口資金（前年度末4件、新規0件、償還完了2件、貸付中2件）
教育支援資金（前年度末32件、新規0件、償還完了2件、貸付中30件）
離職者支援資金（前年度末8件、新規0件、償還完了1件、貸付中7件）
長期生活支援資金（前年度末1件、新規0件、償還完了1件、貸付中0件）
総合支援資金
生活支援費（前年度末12件、新規0件、償還完了0件、貸付中12件）
一時生活再建費（前年度末4件、新規0件、償還完了0件、貸付中4件）

<小口資金貸付事業サービス区分>

前年度末貸付件数20件、新規申込10件、償還完了13件、貸付中17件

<生活困窮者自立支援事業サービス区分>

相談支援、支援調整会議の開催、内部研修の開催など（相談受付件数103件）

<福祉サービス利用支援事業区分>

日常生活自立支援事業の実施（利用者 5名）

<ボランティアセンターサービス区分>

ボランティアセンターの開設
ボランティア活動の支援（登録ボランティア 個人29名、58グループ1,179名）

<通所介護事業拠点区分>

デイサービスセンター「むすびの里」（延利用者 4,759名）
デイサービスセンター「第二むすびの里」（延利用者 8,603名）
デイサービスセンター「永寿園」（延利用者 1,119名）
デイサービスセンター「第二永寿園」（延利用者 6,221名）
デイサービスセンター「わかばの里」（延利用者 4,259名）
デイサービスセンター「第二わかばの里」（延利用者 7,375名）
デイサービスセンター「おおむろの丘」（延利用者 5,318名）
※基準該当障害者福祉サービス生活介護
デイサービスセンター「第二わかばの里」（延利用者 182名）

<居宅介護支援サービス区分>

阿賀野市社協ケアセンター「ぬくもり」（延利用者 2,149名）

<訪問介護サービス区分>

阿賀野市社協ヘルパーステーション「ぬくもり」（実利用者 541名）
※保険外サービス（利用者 1名）

<障害者居宅介護サービス区分>

自立支援
身体障害者（実利用者 83名）、知的障害者（実利用者 72名）、精神障害者（実利用者 67名）
地域生活支援（実利用者 40名）

<こどものことばとこころの相談室サービス区分>

通所支援（延利用者 4,921名）
相談支援（計画相談 276名、モニタリング 47名）

<さくらの会作業所サービス区分>

就労継続支援B型事業の経営（延利用者4,275名）、自主製品販売活動、研修会、畑作業など

<地域活動支援事業サービス区分>

地域で暮らす障がいのある方が余暇活動を楽しむ憩いの場である地域活動支援センターどれみハウスの経営（延利用者 755名）

<京和荘サービス区分>

老人、生きがいセンター（延利用者 3,409名）
公民館（延利用者 12,752名）



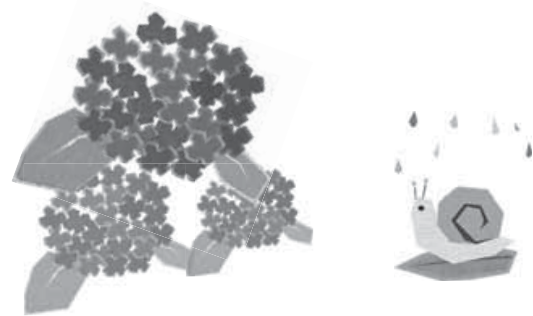
平成29年度阿賀野市社会福祉協議会財産目録

【財産目録】

平成30年3月31日現在 (単位：円)

資産・負債の内訳	金額
1、資産の部	
流動資産	
現金預金	205,409,307
事業未収金	74,732,961
未収補助金	150,000
原材料	160,254
前払金	976,250
仮払金	23,000
流動資産計	281,451,772
固定資産	
基本財産	
建物	374,398
定期預金	4,000,000
基本財産計	4,374,398
その他の固定資産	
建物	10,390,714
構築物	1,368,221
車輛運搬具	2,364,939
器具及び備品	3,630,777
有形リース資産	1,270,080
ソフトウェア	168,480
長期貸付金	410,000
退職手当積立金預け金	251,703,772
修繕費積立資産	800,000
備品等購入積立資産	500,000
工賃変動積立資金	500,000
設備等整備積立資産	1,000,000
事業運営安定資金積立資産	50,050,111
預託金	50,920
その他の固定資産計	324,208,014
固定資産計	328,582,412
資産合計	610,034,184

資産・負債の内訳	金額
2、負債の部	
流動負債	
事業未払金	15,589,929
1年以内返済リース債務	635,040
未払費用	17,327,132
預り金	191,257
職員預り金	9,142,430
流動負債計	42,885,788
固定負債	
リース債務	635,040
退職給付引当金	299,528,670
固定負債計	300,163,710
負債合計	343,049,498
差引純資産	266,984,686



【貸借対照表】

平成30年3月31日現在 (単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
401 流動資産	281,451,772	290,124,757	△8,672,985	411 流動負債	42,885,788	36,302,885	6,582,903
402 固定資産	328,582,412	331,053,847	△2,471,435	412 固定負債	300,163,710	290,705,160	9,458,550
001 基本財産	4,374,398	4,499,194	△124,796	負債の部合計	343,049,498	327,008,045	16,041,453
002 その他の固定資産	324,208,014	326,554,653	△2,346,639	純資産の部			
資産の部合計	610,034,184	621,178,604	△11,144,420	414 基金	4,000,000	4,000,000	
				415 国庫補助金等特別積立金	7,726,993	8,791,854	△1,064,861
				416 その他の積立金	55,160,225	55,155,223	5,002
				417 次期繰越活動増減差額	200,097,468	226,223,482	△26,126,014
				純資産の部合計	266,984,686	294,170,559	△27,185,873
				負債及び純資産の部合計	610,034,184	621,178,604	△11,144,420

※詳しくは、7月15日より阿賀野市社会福祉協議会ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

平成29年度阿賀野市社会福祉協議会 赤い羽根共同募金助成事業報告

阿賀野市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金より平成29年度の地域福祉推進事業費として5,645,773円の助成を受けましたので、その用途についてご報告いたします。

高齢者福祉活動費 3,151,000円

- ふれあい昼食会…………… 216,000円
- 配食サービス事業…………… 2,697,000円
- ふれあい・いきいきサロン推進事業… 238,000円



障がい児・者福祉活動費 71,000円

- 障がい者ふれあい交流会…………… 71,000円



卓球バレーとカローリングに挑戦しました!!

児童・青少年健全育成事業費 100,000円

- ボランティア体験学習支援事業費…… 100,000円



住民全般福祉活動費 2,323,773円

- ボランティアフェスタ…………… 123,000円
- ボランティア活動保険加入援助事業… 229,000円
- 県民福祉大会研修事業…………… 191,000円
- 社協機関紙発行事業…………… 265,000円
- ボランティア通信発行事業…………… 701,000円
- 行路人旅費支援事業…………… 7,000円
- 思いやり改善助成事業…………… 200,000円
- 子育てサロン推進事業…………… 36,000円
- 地域ささえ愛事業…………… 511,000円
- 介護教室開催事業…………… 60,773円



赤い羽根共同募金

感謝状贈呈式・助成金目録交付式



阿賀野市共同募金委員会では、赤い羽根共同募金の仕組みや市民の皆さまよりお寄せいただく募金の使いみちを広く知っていただく機会として、去る6月16日に阿賀野市水原保健センターにおいて開催された、阿賀野市社会福祉大会の席上にて『赤い羽根共同募金感謝状贈呈式・助成金目録交付式』を開催しました。

感謝状の贈呈では共同募金運動推進のために毎年継続して積極的に協力され、その功績が顕著な企業・病院に田中会長（田中清善 阿賀野市長）より感謝状が贈られました。

また、昨年の募金運動期間に皆さまよりお寄せいただいた募金から、社会福祉の向上を目的とする事業への助成として、市内の社会福祉法人、福祉団体、学校へ助成金目録が交付されたのち、助成を受けた方々を代表し、阿賀野市立京ヶ瀬中学校 渡辺安治校長より謝辞をいただきました。

募金に協力くださる方と、その募金により助成を受ける方が互いに共同募金について理解を深める機会となりました。

感謝状贈呈企業

医療法人潤生会

脳神経センター阿賀野病院 様

新潟東部生コンクリート協同組合 様

安田建設株式会社 様

京ヶ瀬診療所 様

株式会社三浦組 様

水原商工会 様

株式会社松田設備工業 様

株式会社笹神 様

有限会社ヘルシーフーズ川上とうふ 様

株式会社足立測量設計事務所 様



<平成29年度共同募金による平成30年度事業費助成団体>

助成種別	助成先	事業名	助成額
地域助成	社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会	配食サービス事業等15事業	5,797,539円
	緑町創作子ども太鼓	緑町創作子ども太鼓	50,000円
	阿賀野市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員活動事業	500,000円
	傾聴ボランティア ハートピアあがの	心の健康自立支援事業	50,000円
	阿賀野市老人クラブ連合会	高齢者声かけ運動	50,000円
	阿賀野市立 安田中学校	社会福祉研究普及事業	50,000円
	阿賀野市立 京ヶ瀬中学校	コスモスロード・門松贈呈事業	50,000円
	阿賀野市立 水原中学校	水原中学校 地域貢献活動ボランティア	50,000円
	阿賀野市立 笹神中学校	はぐるの里交流活動	50,000円
	阿賀野市立 安田小学校	地域福祉推進事業	50,000円
	阿賀野市立 京ヶ瀬小学校	福祉体験交流活動	50,000円
	阿賀野市立 水原小学校	白鳥パトロール隊活動事業	50,000円
	阿賀野市立 安野小学校	児童健全育成事業	50,000円
	阿賀野市立 分田小学校	地域クリーンアップ大作戦	40,000円
	阿賀野市立 堀越小学校	社会福祉活動事業	15,000円
	阿賀野市立 笹岡小学校	社会福祉研究普及事業	50,000円
	阿賀野市立 神山小学校	福祉教育交流活動	38,000円

みんなが福祉のサポーター

平成30年度社協会員（会費）にご協力お願いいたします。

どんなに時代が変わっても、「おたがいさま」と助け合い、安心していつまでも暮らすことのできるまち。そんなまちづくりにむけて、社会福祉協議会は、地域のみなさまとともに、これからも活動してまいります。

みなさまにご協力をお願いする会費は、私たちの暮らす地域で行われている福祉活動を支える貴重な財源となっております。また、会費を納めていただくことは、地域福祉活動に間接的に参加していただけるという大切な役割を持っています。ぜひ、ご理解とご協力をお願いします。

● 会員（会費）の種類 ●

一般会員	賛助会員（役員・篤志家）	特別会員（法人事業所・団体・福祉施設）
一世帯 500円	一口 1,000円	一口 3,000円

※会員に加入することや会費の金額については、決して強制ではなく任意です。

平成29年度社協会費の実績と使い道のお知らせ

会費実績 **4,214,396円**

一般会費	8,558世帯	3,892,396円
賛助会費	124個人	124,000円
特別会費	13団体	198,000円

ご理解とご協力ありがとうございました。社協の活動は、みなさまの会費によって支えられています。

今年度も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

会費の使い道として

- いきいきサロン推進事業…………… 150,000円
高齢者の閉じこもりの防止や仲間づくり、生きがいづくりのための活動の支援
- 社協機関紙「福祉あがの」発行事業…… 181,444円
(ホームページ<http://www.agano.net/shakyo/>
管理運営更新料含む)
- 社会福祉事業功労者表彰式…………… 50,000円
市内の社会福祉事業功労者の表彰
- 地域活動車輛維持費…………… 254,959円
マイクロバスの車検代・保険料・整備費等
- 法人運営費…………… 3,577,993円
市社協運営のための人件費以外の事務費と事業費

職員紹介



介護員：そが しょう 翔

阿賀野市デイサービスセンター第二永寿園の職員をご紹介します。

☆今の仕事内容を教えてください。

利用者さんの送迎や口腔ケア、お茶出しをしています。

その他にもベッドメイキングもしています。

☆仕事でやりがいを感じる時はどんな時ですか。

利用者さんから名前を呼んでもらえた時です。

☆将来の夢を教えてください。

具体的な夢はまだ決まっていませんが、早く仕事に慣れて頼りにされるようになりたいです。



この機関紙は社会福祉協議会会費並びに赤い羽根共同募金助成金で発行しています。

発行 〒959-2123 新潟県阿賀野市姥ヶ橋669 (阿賀野市役所京ヶ瀬支所内)

社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会

TEL 0250-67-9203 FAX 0250-67-9204

福祉あがの、ボランティアグループ「うぐいす会」により音声訳されています。